



新富士ロータリークラブ会報

IMAGINE ROTARY

— イマジン ロータリー —

R I 会長 江ノア・ジョージ
第2620地区ガバナー 浅原 諒 蔵
新富士 R.C. 会長 潮 来 克 士
幹事 斉 藤 寛 明

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎月第2・3・4火曜日
12:30~13:30



第1445回例会 (2023. 2. 28)



司 会 渡邊 哲男会場監督
ソング 「奉仕の理想」

四つのテスト唱和・本年度新富士 R C テーマ唱和
R I テーマ唱和

ました。当クラブでも、クラブとして、そして個人の
会員として支援をしていきたいと考えています。よろ
しくお願いします。

会長挨拶

2月も最後の日となり、春も間近になってきました。
先日、河津桜を見に行ってきました。初めてでした
が、見事に綺麗に咲き誇っていました。

3月に入ると、花見の時期になります。今年の静岡
の開花予想は3月23日だそうです。見頃は3月末から
4月初めでしょうか。皆さまは、どのようにお過ごし
になるのでしょうか。私は、いつも行く千鳥ヶ淵と今
年は京都を考えております。宴会はしませんが、春を
楽しむためにお花見は必ず行っています。

さて、2月18日(土)にインターシティミーティング
(IM)が富士宮のフォレストヒルズで開かれました。
新型コロナウイルス感染症の影響で、3年ぶりの開催
でした。当初は全員登録で準備を進めていましたが、
コロナが収束していないということで、各クラブから
は会長と幹事のみ参加となり、式典と会議が行われ
ました。

会議の内容は、公益財団法人米山梅吉記念館に関す
る講演と静岡第2グループ12RCよりのメッセージで
す。メッセージは、当グループ内に建設された「公益
財団法人米山梅吉記念館」の永続的な存続を願い、所
属12RCは寄付活動、例会への参加、移動例会、第
2620地区の他RCへの移動例会の開催の呼びかけの4
つを決意するというものでした。

記念館は本年度から地区から独立し、全国の会員か
らの浄財で運営されていくことになりました。ロータ
リーの聖地として、会員の皆様の支援を呼び掛けてい

幹事報告

- ①ガバナー事務所より、国際ロータリー第2620地区
地区50年史「クラブ紹介」掲載の依頼 締切5/31
- ②ロータリー財団委員会より、地区補助金管理セミ
ナー開催のお知らせ (3/23, 3/24どちらかに参加)
- ③ガバナー補佐より、IMのお礼状 受信回覧
- ④ガバナー補佐より、第6回オンライン会長・幹事会
開催のお知らせ3/29
- ⑤国際ロータリー第2580地区ガバナーより、「ロータ
リー希望の風 奨学金」支援 東日本大震災チャリ
ティコンサートの案内
・日 時：2023年3月10日(金) 17時開場 18時開演
・会 場：すみだトリフォニーホール(小ホール)
・申込期限：2/28
・登 録 料：対面出席 6,000円
オンライン試聴 3,000円
- ⑥富士宮RCより、5クラブ麻雀大会中止のお知らせ
- ⑦ガバナー事務所より、トルコ・シリア大地震救援金
協力の依頼 (受付期間 2/14~3/10)
(2/16にクラブより20,000円送金しました)
- ⑧ロータリーの友 3月号 各配布
- ⑨週報受信回覧 富士RC 富士宮RC 富士宮西RC



出席報告
小山 哲出席委員



スマイル報告
和田三郎親睦委員

プログラム予定

3月14日(火) 卓話

3月28日(火) 通常例会
(PETS報告)

出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1445回	14	9	5		暫定64.28%

《本日の欠席者》

堀井 健治君 久保田元久君 高橋 孝行君
高木 宏君 渡邊 勝英君



私のスマイル

木村 憲司君 本年も2ヶ月が過ぎます。早いものです。天候も良くなりゴルフシーズンです。

川村 武君 米の宮公園の早咲きの桜きれいです。朝晩まだ寒いですが、もうすぐ暖かくなりますね。
本多 脩身君 春らしい天気となってきました。
潮来 克士君 2月も終わり、いよいよ春が近づいてきました。楽しい春になると良いですね。
小山 哲君 藤井聡太5冠と羽生九段の王将戦、二日目を専門チャンネルで実況中継で見せてしまいました。ド素人の私でも引き込まれてしまいました。
和田 三郎君 春らしい気候になりました。スキーからゴルフに衣替えします。

国際ロータリー第2620地区 2022-23年静岡第2グループIM テーマ「米山梅吉翁の想い」ロータリーの聖地

国際ロータリー第2620地区 静岡第2グループ
ガバナー補佐 佐野 和義様

米山梅吉氏（1868-1946）は、16歳の時、静岡県長泉町から上京し、20歳で米国へ渡り、8年間の苦学の留学生活を送りました。帰国後、幾多の事業を成功させ、今日でいうフィランソロピーの基盤を作り、晩年は多くの社会・医療事業に奉仕。他人への思いやりと助け合いの精神を身をもって行い、多くを語らなかった陰徳の人でした。

一方、米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。

敗戦から学んだ「アジア諸国との友情こそが日本の生きる道である」との認識を持ち1952年12月、東京ロータリークラブが「米山基金」の構想を発表したのが起点です。

「日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに世界に理解してもらうためには、留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」

すでに米山梅吉翁は亡くなっていましたが、この壮大な平和を求めた事業に、日本のロータリーの誕生に多大な功績を残した米山氏の名を刻んだのです。

「民間外交として世界に平和の種子を蒔く」という米山奨学事業の使命が「ロータリー米山記念奨学事業」の原点です。

そして、公益財団法人米山梅吉記念館は、昭和44年3月26日、財団法人米山梅吉記念館として設立され、9月16日記念館（旧館）が建設されました。

この地は、駿東郡長泉町下土狩の米山梅吉終焉場所である米山別邸でした。

記念館建設には幾多の困難がありましたが、地元ロータリアンをはじめとした全国のロータリアンの懸命な支援によって「日本のロータリーの礎」が完成。そして、新記念館へ受け継がれたのです。

以来、記念館は「ロータリーの心」を学ぶ拠り所として、志ある多くのロータリアンの来訪を受け、記念館建設の初期の目的を果たし今日に至っております。

さて、現在米山記念館は公益財団法人として、本年度より地区から独立しました。



松村友吉 公益財団法人米山梅吉記念館理事長
(2022年9月17日秋季例祭より)

しかし、記念館の運営は、今後も多くのロータリアンの貴重な浄財のみでされていくことになり、折しも、当第2グループは米山記念館の拠点に位置しております。

今こそ世界が平和を望んでいる時はありません！

この素晴らしい「ロータリークラブ創立の想い」と「世界平和を目的とした奨学制度」は、当グループの誇りでもあります。

そこで、本IMは地元ロータリアンとして、今、何が課題か？ また、何ができるか？

「米山」について議論いたしたく存じます。